

お願い

- ・注意事項に掲載されている条件下では使用しないでください。
- ・本書を紛失、破損した時は販売店もしくは当社までご相談ください。

保証規定

- お買い上げ日から、1年間を保証期間とし、この期間内に取扱説明書・本製品注意書き等の内容に従った正しい使用状態で、故障した場合には無料修理致します。なお、製品の傷は保証の対象にはなりません。
- 保証期間終了後、および保証期間内であっても、下記の場合は保証の対象外になります。
 - (イ) 保証書にお買い上げ日・お客様名・販売店名の記入がない場合。
 - (ロ) 保証書の字句を書き換えられた場合。
 - (ハ) 使用上の誤り・不注意・過失による故障・破損。
 - (ニ) 不当な修理・改造および分解による故障・破損。
 - (ホ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変や公害や異常電圧による故障・破損。
 - (ヘ) 指定以外の電源（電圧・周波数）による故障。
 - (ト) 水以外に使用された場合の故障・破損。
- 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。
- 製品の仕様・デザインは予告なく変更することがあります。
- 当社からの出張修理・交換等は致しておりません。お買い上げの販売店にご相談願います。
- いかなる場合においても、製品の仕様または使用不能から生ずる損害（生体死亡・社会的損害）等に対して当社は一切の責任を負いません。

※お買い上げ時のレシートは 必ずお取り扱いください。

保証書 お願い ※印欄は必ず販売店様にて記入捺印をいただってください。	
保証の対象	本品 琉金DX・コメットDX
保証期間	ご購入日より 1年間 ご購入日※ 年 月 日
お客様※	お名前 お電話番号 ご住所
販売店名※	ご住所

20210701



ゼンスイ 株式会社

本社 〒566-0052 大阪府摂津市鳥飼本町 5-1-16 TEL072-654-3743 FAX072-654-3753
関東営業所 〒345-0036 埼玉県北葛飾郡杉戸町杉戸 1-9-20 TEL0480-33-2058 FAX0480-33-2059

■故障・修理のお問い合わせは ホームページ：<https://www.zensui.co.jp>

西日本地区 **072-654-3743 AM 9:00～12:00**

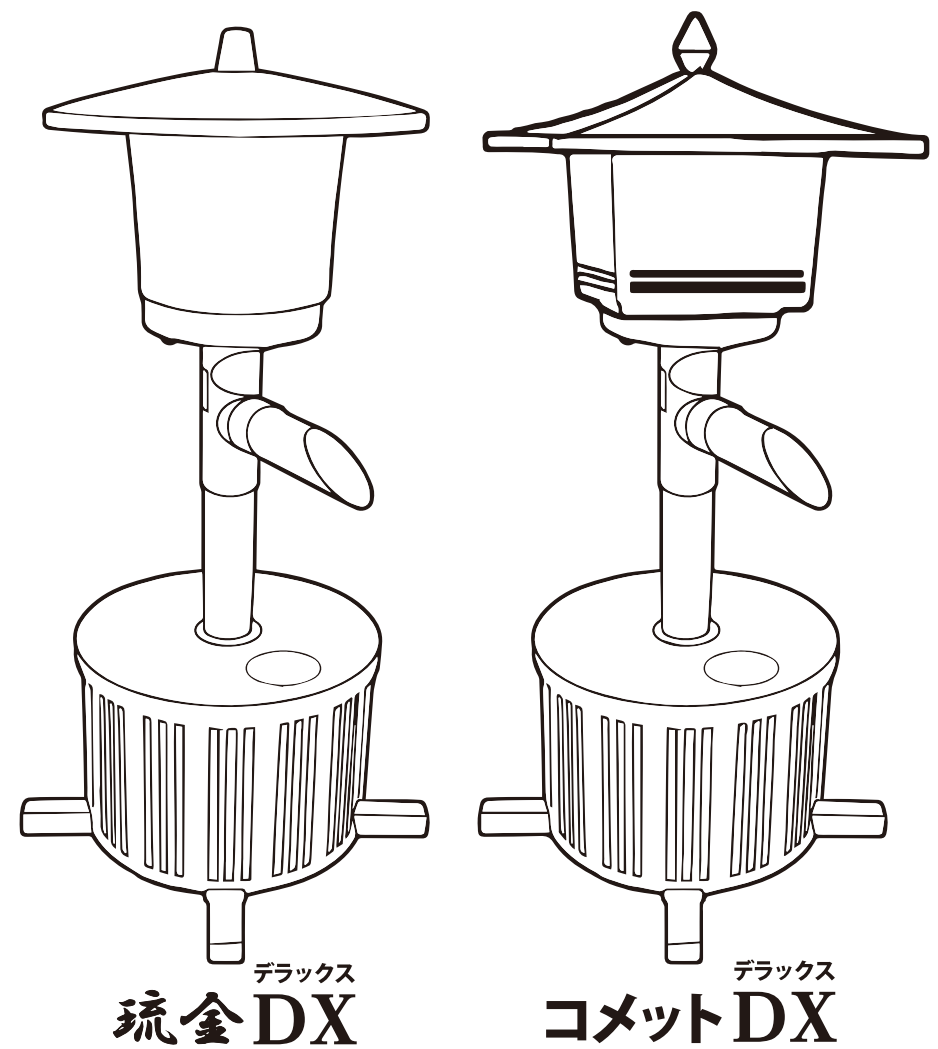
東日本地区 **0480-33-2058 PM 1:00～ 5:00**

受付時間：土日祝祭日を除く月～金曜日



ゼンスイ ウォータークリーナー®

取扱説明書



ゼンスイウォータークリーナーをお買い上げ頂きありがとうございます。
当製品を安全にお使い頂くために、この説明書をよくお読みください。
誤った使い方は、人・動物・財物の重大な事故につながる危険があります。

読み終えた後は必ず保管して、必要な時に応じてお読みください。

⚠

警告

人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

⚠

注意

人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

濡れた手で電源プラグやコンセントはさわらないでください。 感電の原因になります。		タコ足配線はしないでください。 火災の原因になります。	
煙・異臭・異音が出た場合は使用を中止してください。 火災・感電の原因になります。		水平でない場所や振動の激しい場所には置かないでください。 故障の原因になります。	
電源は交流 100V 以外では使用しないでください。 漏電・感電の原因になります。		本品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。 破損や故障の原因になります。	
分解や改造をしないでください。 火災・感電の原因になります。		電気容量を確認してください。容量不足になるとブレーカーが落ちます。 タコ足配線等でもクリーナー本来の能力を出すことが出来ない場合がありますのでご注意ください。	
お子様がセットされる場合は必ず大人が付き添って指導してください。 感電・やけどの原因になります。		本製品を拭き掃除する際、シンナー・ベンジン・アルコール及び有機溶剤を含むガラスクリーナーなどは使用しないでください。 表面が溶けたり、変形する可能性があります。汚れを拭き取る場合は、ぬるま湯を浸した布を固く絞って拭き取ってください。	
電源コードを引っばったり、束ねたり、重いものを乗せたり、無理に曲げたりしないでください。 感電・火災の原因になります。		廃棄される場合は各自治体の指導に従って処理してください。	
差し込みプラグを根元までしっかり差し込んでください。 感電・トラッキングの原因になります。		プラグをコンセントから抜く時は、必ずプラグを持って抜いてください。 コードを持って抜くと、感電・ショート・発火の原因になります。	
		屋外でできるように設計されたコードを使用しております。 安易に延長コードをご使用すると火災等の恐れがございますのでおやめください。	

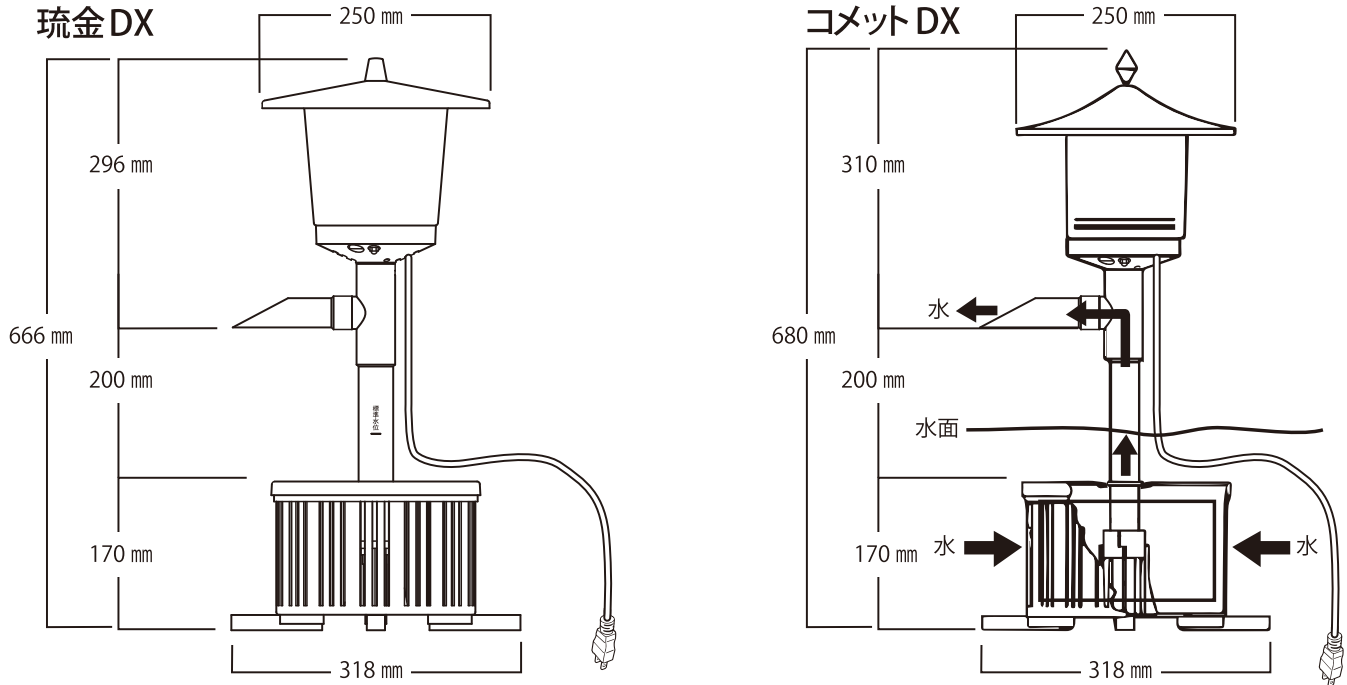
■ 使用上の注意

●以下の作業は必ずコンセントからプラグを外し、通電されていないことを確認してから行ってください。

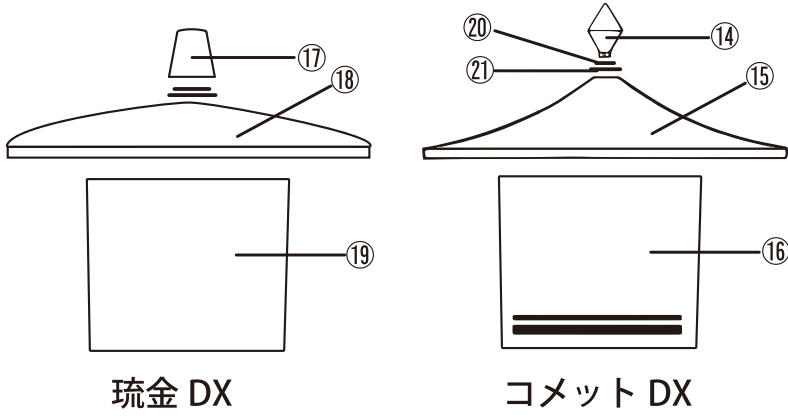
- ①セットするとき ②濾過材を洗うとき ③機械を移動するとき ④誤って機械を池に落としたとき
⑤ランプを交換するとき

- 漏電ブレーカー（別売）は必ず室内に取付けてください。
- 時々、電気コードや差し込みプラグを点検してください。
- 電気コード、差し込みプラグは傷んだまま使用しないでください。
- コードを足で引っかけて機械を倒したり、また強い衝撃を与えたり、水の中に落としたりしないでください。
- 故障した場合、コンセントをプラグから外し、販売店にご相談ください。

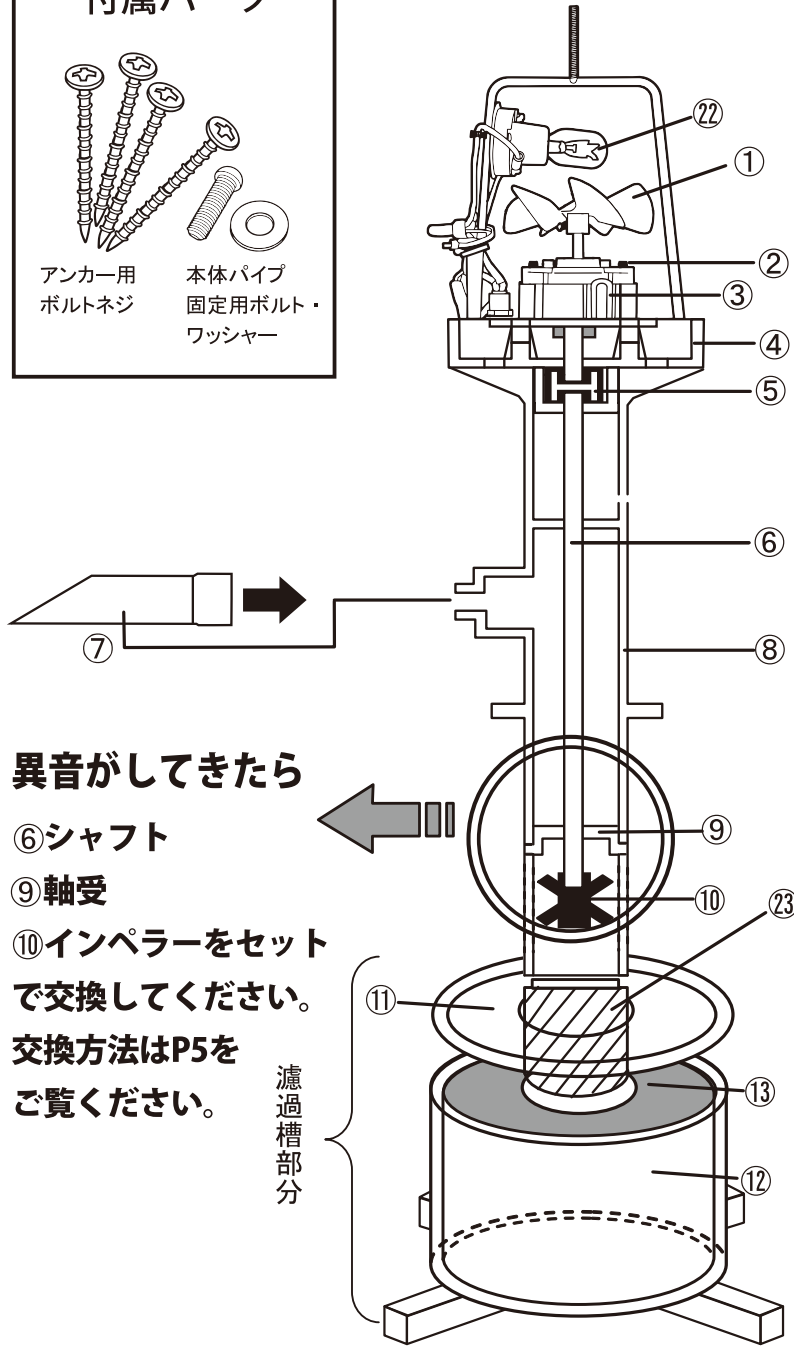
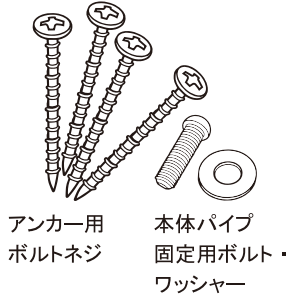
■ 寸法図



■ 展開図



付属パーツ



● 各 部 名 称 ●

①	モーターファン	部品アリ
②	モーター固定ビス	部品アリ
③	モーター	部品アリ
④	モーターベース	部品アリ※
⑤	ジョイント	部品アリ
⑥	シャフト	部品アリ
⑦	吐出口	部品アリ
⑧	パイプ	部品アリ※
⑨	軸受	部品アリ
⑩	インペラー	部品アリ
⑪	濾過槽フタ	部品アリ
⑫	濾過槽	部品アリ
⑬	濾過材	部品アリ
⑭	笠止めナット(コメット用)	部品アリ
⑮	笠(コメット用)	部品アリ
⑯	グローブ(コメット用)	部品アリ
⑰	笠止めナット(琉金用)	部品アリ
⑱	笠(琉金用)	部品アリ
⑲	グローブ(琉金用)	部品アリ
⑳	ナット	部品アリ
㉑	ゴムワッシャー	部品アリ
㉒	電球15W(口金E-12)	部品アリ
㉓	固定用スペーサー	部品アリ

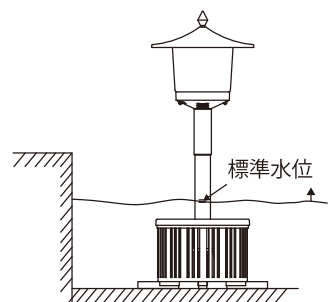
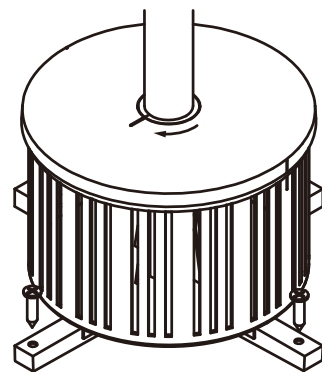
※部品は販売店または当社のホームページよりご注文ください。

■ 仕様

	琉金DX	コメットDX
定格電圧	100V 50/60Hz	
消費電力	24/25W(点灯時34/35W)	
消費電流	0.42/0.50A	
循環水量	1100~1300L/h	
濾過能力	2㎡/約0.6坪(水深30cm) 最大水量:600ℓ 以内	
本体寸法	W318×D318×H666mm	W318×D318×H680mm
本体重量	2.5kg	2.6kg
コード長	5m	
出力	4W	

■ 設置 / 運転時の注意点

- ・設置は水面に対し平行な、凸凹のない底面に置いてください。
- ・転倒の恐れのある場合は、濾過槽脚のアンカー用穴を使って付属のボルトネジかアンカー（別売）による固定を行ってください。
- ・ボルトネジやアンカーが使えない場合は重し等で固定してください。
- ・池の水が全体によく流れやすい場所に設置してください。

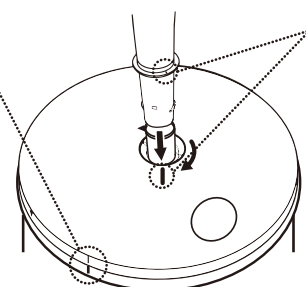


■ 水位について

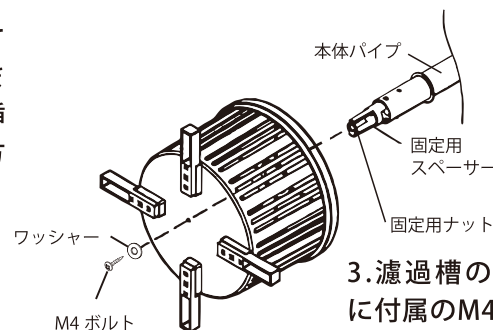
水位はパイプの「標準水位」に合わせてください。ブロックなどを使用して水位を調整してください。水位が高いとモーターベースに水が上がり、故障や漏電、火災の恐れがあります。また、暴風・豪雨などで水位が上がる場合は、稼働を停止させてください。

■ 使用方法

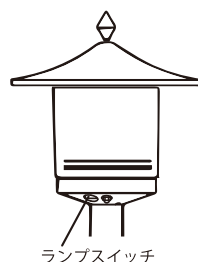
1. 濾過槽と濾過槽フタの切り欠きを合わせて、濾過槽フタをセットする。



2. 印を合わせてパイプを奥までしっかり挿し込み、矢印方向に回す。



3. 濾過槽の底板に付属のM4ボルトで本体パイプを取り付ける。



4. 本体を池に正しく設置し、電源プラグを電源に差し込み、水を循環させます。
5. 必要に応じてランプを点灯させてご使用ください。

※濾過槽とパイプを外す場合は、1～5の手順を逆に行います。

■ 濾過材の掃除について

濾過材が目づまりすると、吐出量が減ってきます。吐出量を見て、できるだけ早めに掃除してください。なお、掃除中に魚が鼻上げする場合は、濾過材のみ取り出して、元のように池に設置し、水を循環して酸素補給を行ってください。

1. 電源の差し込みプラグを抜いてください。
2. パイプを濾過槽から取り出して、安全な場所に置いてください。
※パイプと濾過槽の外し方は、P3の「使用方法」をご確認ください。
3. 濾過槽を池から引き上げて、水洗いしてください。
4. 掃除が終わったら濾過槽にパイプを指し込んでください。
※パイプと濾過槽の挿し込み方は、P3の「使用方法」をご確認ください。



故障かなと思ったら

次のような状態のときには、ただちにご使用を中止して点検をしてください。

- 誤ってモーターに水が掛かり、稼働に支障が出たとき
- 内部から異音、異臭がしたとき
- 誤って本体を落下させ、本体が壊れたとき

次のような症状がある時は、原因と処置方法をご確認ください。

症状	考えられる原因	処置方法
運転(通電)しない	AC100Vコンセントに差し込みプラグが差し込まれていない	AC100Vコンセントに差し込みプラグを差し込んでください。
水が出ない・出が悪い	消耗部品が摩耗している	軸受、シャフト、インペラーを交換してください。 お客様で交換するか、販売店、又は当社へ修理依頼してください。
	モーター(本体)が劣化している	販売店・当社へご相談ください。
	水位が足りない	本体背面に刻印されている標準水位まで水位を確保してください。
	インペラーに藻やゴミ等が絡まっている	絡まっている藻やゴミ等を取り除いてください。 ※合わせて、池内の掃除もお奨めします。
異音がる	濾材が詰まっている	濾材を水洗いし詰まっているゴミを取り除いてください。
	傾いた場所に設置している	クリーナーは水平の取れた安定している場所に設置してください。
	摩耗部品が摩耗している(傾いた場所に設置していると摩耗が早くなります) クリーナー消耗部品交換方法	軸受、シャフト(短シャフト)、インペラーを交換してください。 お客様で交換するか、販売店、又は当社へ修理依頼してください。
	モーター部品が劣化している	販売店・当社へご相談ください。

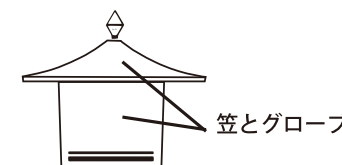
※部品購入や修理のご依頼は販売店または当社のホームページよりご依頼ください。

■ 消耗部品の交換方法

異音が発生してきたり、水が出なくなった場合⑥シャフト⑨軸受け⑩インペラーをセットで交換してください。1つだけ交換すると回転時のバランスが崩れてしまいます。ジョイントが破損している場合はジョイントの交換を行ってください。

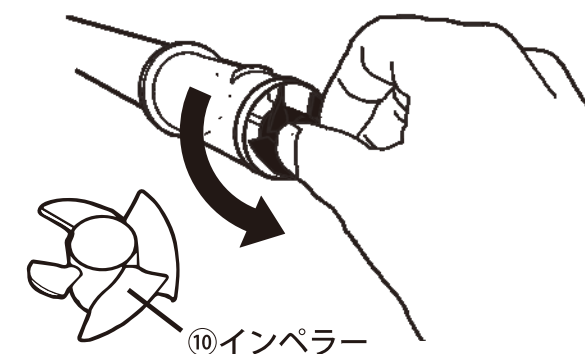
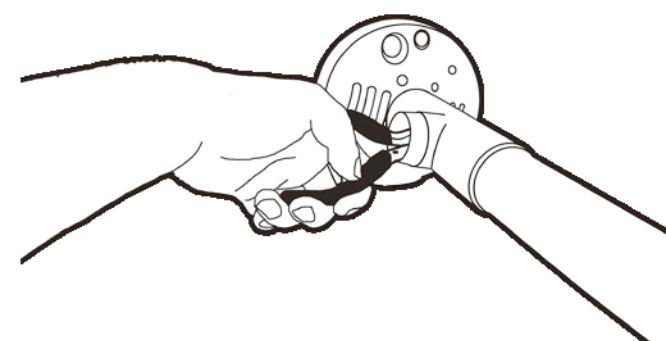
必要工具：ラジオペンチ2個

1. ⑭⑰笠止めナットを外し、⑮⑱笠と⑯⑲グローブを外します。
2. ⑳電球と㉑吐出口を外します。



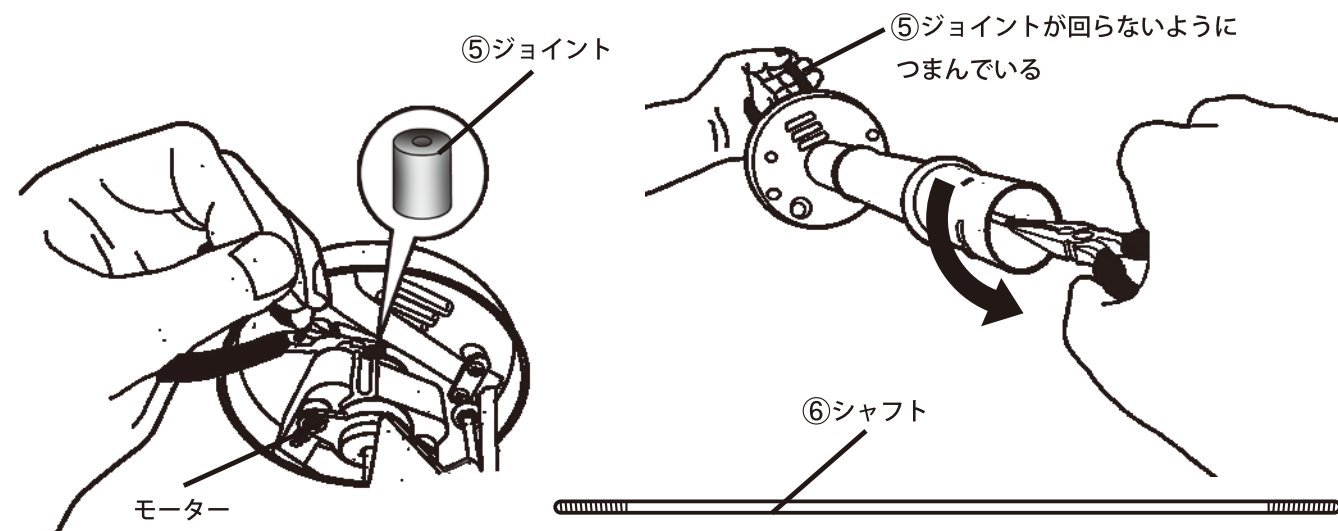
● ⑩インペラーを取り外す

3. 吐出口からラジオペンチ等で、⑥シャフトが回らないように固定させる。
4. ⑥シャフトを固定させたまま⑩インペラーを左に回して取り外します。



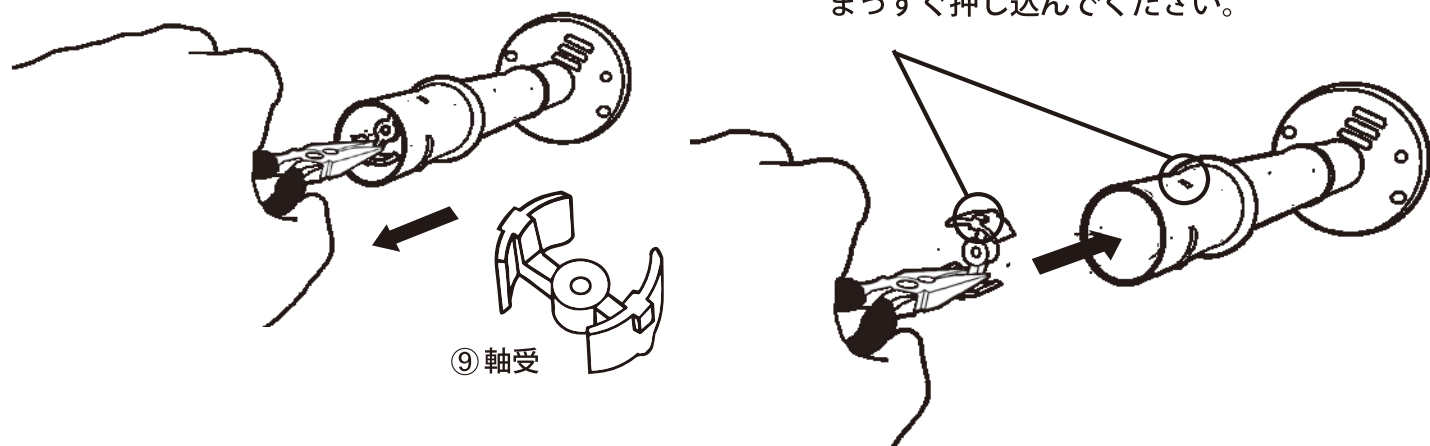
●⑥シャフトを取り外す

5. モーターの間からラジオペンチを差し込み ⑤ジョイントが回らないよう固定します。
6. ラジオペンチ等で⑥シャフトをつまみ 左に回して外します。



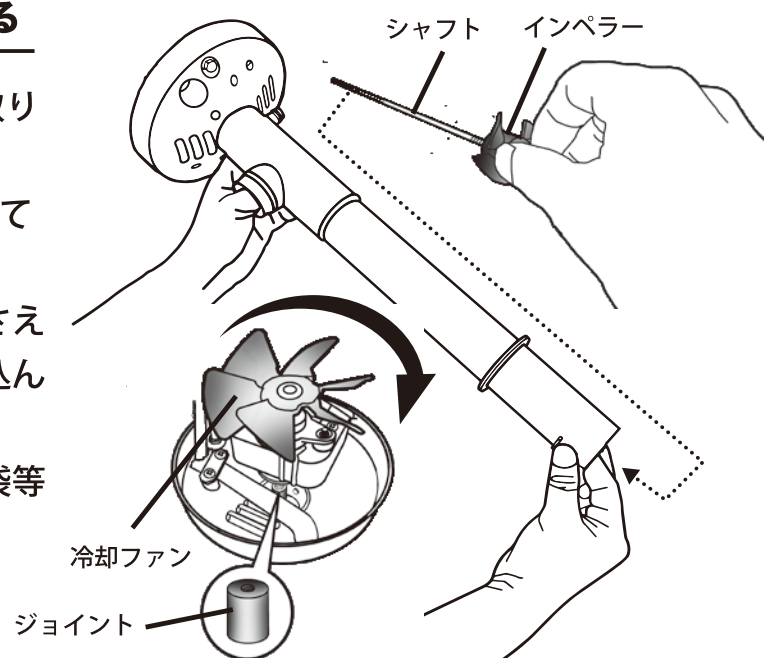
●⑨軸受を取り外す / 取り付ける

7. 下からペンチ等で、⑨軸受をつかみ引き抜いてください。 8. 取り付け方
※ケガをしないよう注意して行ってください。
- ⑨軸受の出っ張りがパイプの穴に入るよう まっすぐ押し込んでください。



●⑩インペラー、シャフトを取付ける

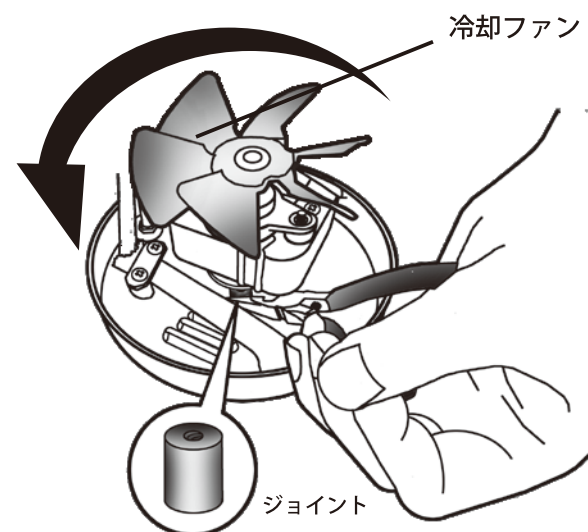
9. ⑥シャフトの先端に⑩インペラーを取り付け、シャフトを本体に挿し込む。
10. 吐出口から指で⑥シャフトを押さえて ⑤ジョイントに取り付ける。
- インペラーが回らない様にインペラーを押さえながら、冷却ファンを右に回して締め込んでいく。
- ※冷却ファンで手を切らない様に、手袋等をしてください。



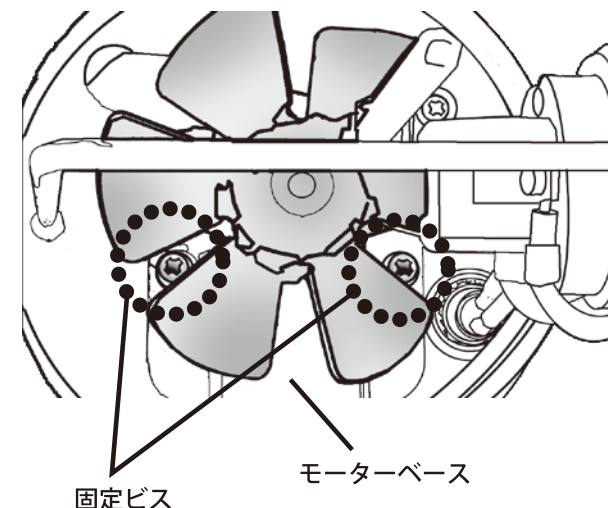
笠とグローブを外します。(P4 1.2 を参照)

●⑤ジョイントの交換方法

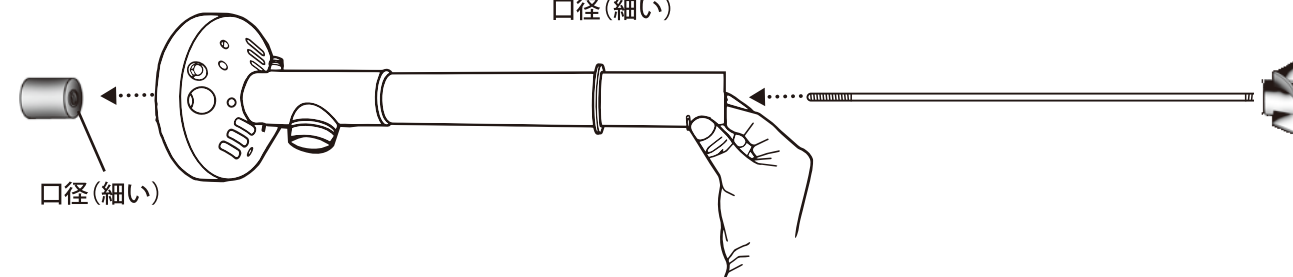
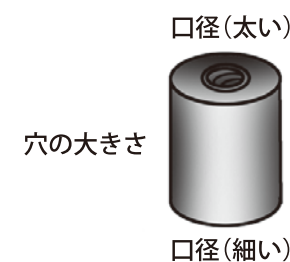
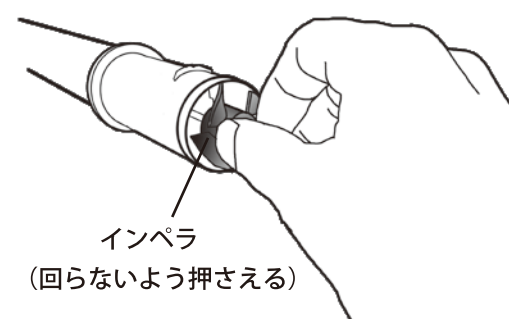
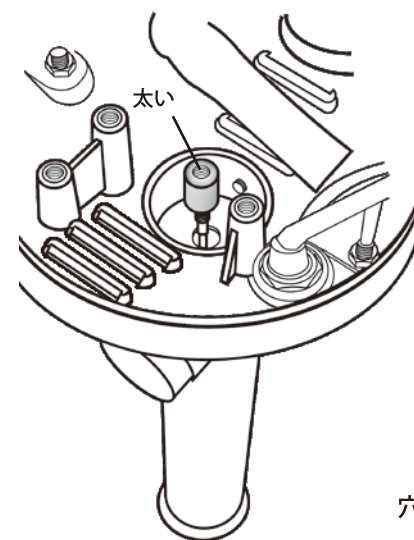
1. ラジオペンチでジョイントを固定して、冷却ファンを少しずつ回して、モーターとジョイントを外します。
※冷却ファンで手を切らない様に、手袋等をしてください。



2. モーター固定ビスを外し、モーターを取り外します。モーターの重みで配線が切れない様にご注意ください。



3. ジョイントの口径は太い/細いの2種類あります。細い方をシャフトに取り付けていきます。インペラを軸受まで持ち上げると、シャフトがモーター側に出てきますので、シャフトが回らない様にインペラを押さえながら、ジョイントを右に回して締め込んでいきます。



4. モーターを固定ビスを付けて元に戻し、ジョイントをモーターに取り付けていきます。インペラを軸受の方に持ち上げて、シャフトの先端のジョイントをモーターに当てて、シャフトが回らない様にインペラを押さえながら、冷却ファンを右に回して締め込んでいきます。

